

NHK朝ドラ「カムカムエヴリバディ」の台詞から

2022年2月1日のNHK朝ドラ「カムカムエヴリバディ」で大月錠一郎が、妻・るいに言った台詞にこんな会話がありました。

「ひなたは10歳や。僕は10歳のお父さん。るいは10歳のお母さん。一緒に大きくなってったらいいねん。」

私たちは、「完成された人間である親が、未完成な人間である子どもを育てている」と無意識の内に考えてしまっています。そして、真面目な親ほど、子育てに悩みます。

実際は、子どもが親によって育てられるように、親も子どもによって育てられているのです。親も子どもも、共に未完成な存在であり、共に育て育てられている関係なのです。錠一郎のこの言葉「親も子も、同じ年齢だ」ということを心に刻み、お子様をお育て下さい。

また、同じく、NHK朝ドラ「カムカムエヴリバディ」で歌舞伎役者、尾上菊之助さんが演じる棗黍之丞(ナツメキビノジョウ)の決め台詞、「暗闇でしか見えぬものがある。暗闇でしか聞こえぬ声がある」とあります。

作家の若松英輔氏は、著書『悲しみの秘義』で「人生には悲しみを通じてしか開かない扉がある。悲しむ者は、新しい生の幕開けに立ち会っているのかもしれない」と記述しています。

私たちは、人生の中での遭遇する暗闇や悲しみを否定するのではなく、暗闇や悲しみ自体が、私たちが新しい人生を開く扉なのだと信じ、自らの人生を大切にしていきたいと願います。

理事長